



いちかわみさと

第25号

2011年11月1日発行

議会だより



●高田地区敬老会

平成23年 9月定例会

- 条例の改正 ······ 2
- 平成23年度一般会計補正予算 ······ 3
- 平成22年度決算認定 ······ 4 ~ 5
- 常任委員会報告 ······ 6 ~ 7
- 地域医療を守る特別委員会報告 ······ 7
- 5議員が一般質問 ······ 8 ~ 10
- みんなのページ ······ 12

消防団員 512人→430人に!!

地方自治法の一部を改正する法律が施行されるため、市川三郷町総合計画審議会条例及び市川三郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する。

「市川三郷町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例」

と実消防団員数にかい離が生じているため、定員を512人を430人に改める。



女性消防隊

第3回 9月定例会

平成23年第3回定例会は、9月7日から16日までの10日間にわたり開催されました。今定例会では、平成22年度決算認定をはじめ、平成23年度一般会計・特別会計補正予算、条例改正など11議案、報告2件、発議1件が提案され、いずれも原案のとおり、可決、認定されました。

条例の改正

総括質疑

「市川三郷町総合計画審議会条例等」

地方自治法の一部を改正する法律が施行されるため、市川三郷町総合計画審議会条例及び市川三郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する。

問一瀬正

地域医療を守る特別委員会は「3病院の経営統合が望ましい」との意見集約がされたが、町の進路にかかる重要な問題であるため、町長の姿勢を問う。

- ① 平成26年4月、新病院開設を目指す、富士川町長の発言について。
- ② 町民の意見を聞く機会を作る計画はあるか。
- ③ 町立病院をどのようにしようと考えているか。

答町長

- ① 地域医療機能推進機構の状況・内容を確かめる努力をしているところで、富士川町長の発言内容を確かめようがない。
- ② 町のしつかりとした考えがまとまらないと、意見を聞くことは出来ない。
- ③ 町立病院が無くならないことに全力を挙げる。



平成23年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 10,541万円

総額 852,399万円

収入のおもな内訳は

| | |
|-------|---------|
| 地方交付税 | 4,127万円 |
| 国庫支出金 | 542万円 |
| 財産収入 | 454万円 |
| 繰入金 | 412万円 |
| 諸収入 | 1,235万円 |
| 町債 | 3,780万円 |

おもな使いみち

民生費

| | |
|--------------------|-------|
| 障害者自立支援医療費国庫負担金償還金 | 163万円 |
| 三珠総合福祉センター修繕費 | 134万円 |
| 保育所臨時職員賃金 | 428万円 |

衛生費

| | |
|------------------|-------|
| 自然エネルギー有効活用推進奨励金 | 300万円 |
|------------------|-------|

農林水産業費

| | |
|--------------------|---------|
| 農道・農業用施設等維持管理作業員賃金 | 180万円 |
| 岩間下河原地内用水路改修工事費 | 500万円 |
| 向新田用水路改修工事費 | 137万円 |
| 高田合同庁舎北側水路改修工事費 | △400万円 |
| 大塚揚水機場堰柱補修工事費 | 147万円 |
| 農道等施設維持管理用材料費 | 150万円 |
| 中山間地域総合整備事業負担金 | 1,200万円 |
| 地籍図根点等検証測量業務委託料 | 119万円 |

商工費

| | |
|-------------------|---------|
| 活力ある商店街づくり助成事業補助金 | 1,000万円 |
|-------------------|---------|

土木費

| | |
|----------------|---------|
| 町道維持管理作業員賃金 | 300万円 |
| 町道用地測量等委託料 | 120万円 |
| 町道維持管理重機借上料 | 150万円 |
| 町道維持修繕工事費 | 1,500万円 |
| 町道維持管理原材料費 | 250万円 |
| 河川・水路維持補修作業員賃金 | 100万円 |
| 町内水路測量設計等委託料 | 150万円 |
| 町内河川・水路維持改修工事費 | 1,000万円 |
| 中央通り整備工事費 | △451万円 |
| 住宅リフォーム助成金 | 200万円 |
| 道路後退用地分筆作業等委託料 | 100万円 |
| 狭あい道路工事費 | 100万円 |
| 町有住宅維持修繕費 | 100万円 |
| 定住促進住宅設計業務委託料 | 205万円 |

教育費

| | |
|----------------|-------|
| 大塚小学校駐車場整備工事費 | 220万円 |
| 大塚小学校駐車場等土地購入費 | 124万円 |
| 給食センター修繕費 | 159万円 |

災害復旧費

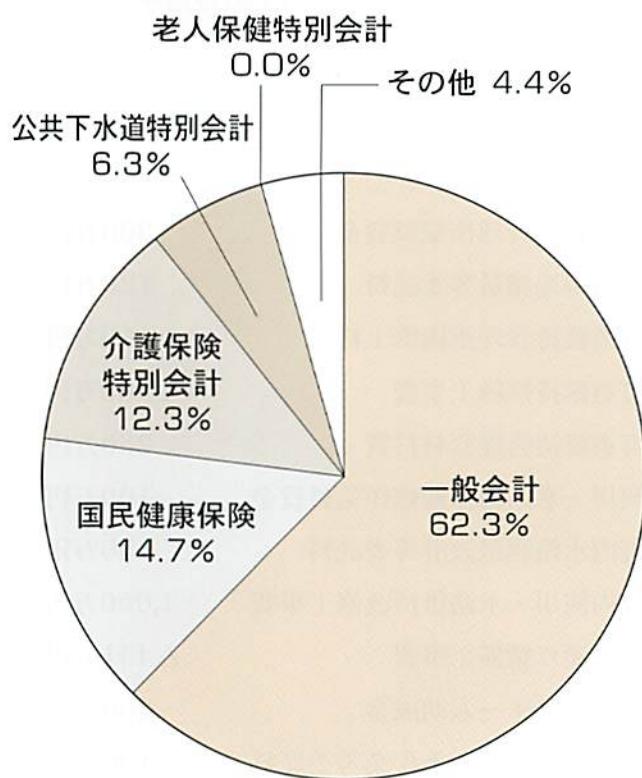
| | |
|----------------|-------|
| 町道落居五八線災害復旧工事費 | 800万円 |
|----------------|-------|

意見書より

(万円未満は四捨五入)

中澤 尚・内藤 優 両監査委員から平成22年度の決算審査意見書が提出されました。

■普通会計支出の内訳■



■財政指標■

| 健全化判断比率 | 平成22年度(%) | 早期健全化基準(%) |
|-----------|-----------|------------|
| ①実質赤字比率 | — | 14.36 |
| ②連結実質赤字比率 | — | 19.36 |
| ③実質公債費比率 | 12.9 | 25.0 |
| ④将来負担比率 | 104.5 | 350.0 |

病院事業会計

医師の確保に全力を

病院

本年度の総収益は16億485万8,859円、総費用16億1,332万1,900円で、差引846万3,041円純損失で、当年度末の未処理欠損金は5億2,229万5,961円となった。

慢性的な医師不足や経営形態が揺れ動く中で、一丸となっての取り組みの結果である。なお医師の確保に全力をあげ、地域医療の中核拠点としての使命を達成されるように期待する。

上水道事業会計

経営改善に一層の取り組みを

本年度の上水道事業会計の収益的収支では、2,412万7,015円の純損失であり、前年度繰越欠損金と合わせて当年度未処理欠損金は、2億1,928万4,087円となっている。

平成23年度には2度目の計画的料金改定が行われているが、今後とも工事、修繕等の増加、償還金の重圧、使用水量の鈍化などにより、なお厳しい経営状況が続くものと思われる。町民に安全で良質な水を供給するという命題の中で、一層の経営改善に取り組まれるよう切望する。

経営健全化に向け一層の取り組みを 介護老人保健施設

本年度の総収益は3億4,887万5,755円、総費用3億5,719万5,593円で831万9,838円の純損失であったため、当年度末の未処理欠損金は、7,764万9,654円となった。

このうち事業収益は3億262万7,781円ではじめて3億円を突破した。また一時利用者が100%に達したことがあるなど懸命な努力がなされている。しかしながら収益の源である利用者の上積みは、これ以上多くはあまり望めない状況である。努力を評価しつつも、なお一層経営の健全化に向け取り組んでいただきたい。

平成22年度決算認定 監査委員

一般会計・特別会計

① 総体的な財務諸指標については、改善の様子が伺える。経常収支比率は70%台に、実質公債費比率も対前年度比2.2%改善、また将来負担比率も104.5ポイントと大きく改善された。

これらの改善は、交付税等の交付金の増額によるところが大きく、今後の経済情勢、国策などに左右されることが予想され、予断を許さない状況にある。なお一層健全財政に向けた取り組みを求める。

② 歳入面において当年度も町税等の収入未済問題が大きな課題となった。ここ数年の収納率は、横ばいかやや右肩下がりの傾向が見られる。また、滞納整理については年々成果を上げつつあり、悪質な滞納者への処分も、差し押さえ件数198件、うち収納に至った額は1,352万円余りと前年度を上回っている。なお現年分の収納にも一層の尽力を願う。

また、税以外の使用料、手数料、分担金、負担金、医療関係費などでも同様な取り組みがされており、それぞれに成果を上げつつあるが、近年の社会情勢、経済の影響も鋭意尽くされたい。

国保事業についても、大変厳しい事業運営を強いられている。滞納整理も着々と成果を上げつつあるが、依然として7千万円近くがあり、全体の収納率もようやく80%台である。経済情勢による個々の収入の目減りが大きな要因となっていると思われるが、鋭意説得に努め、町民の安心を確保されるよう求めれる。

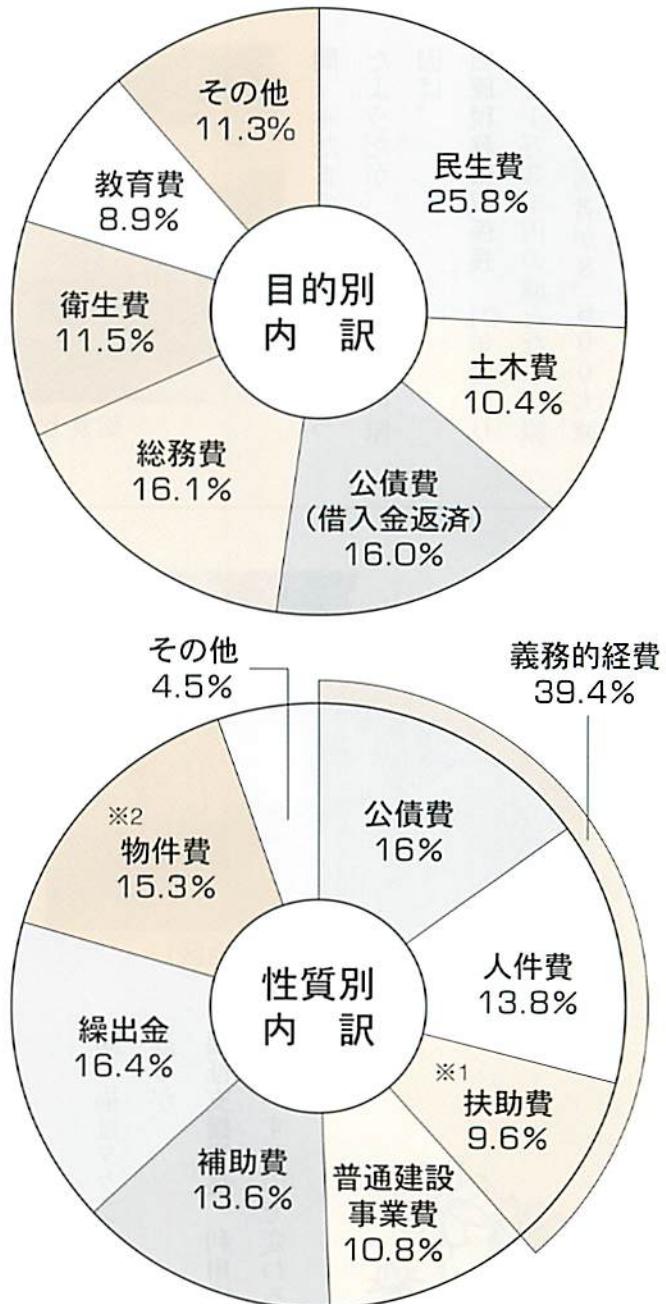
③ 歳出面においては

- (1) あまり不用額が生じるはずのない費目で不用となっているものが目に付いた。(給与費等関係費、報酬、報償、委託料、負担金、補助金など)
- (2) 需用費は毎年同じくらいの不用額が生じている。毎年経費節減という説明であるが、特に光熱水費、燃料費などである。
- (3) 特別旅費は、研修のためのものと思われるが、不用額については、日々の仕事の制約の中でのやりくりは大変だとも思うが外での見聞も大事なことで、有効に執行されたい。
- (4) 予算額と支出済額がどうしてこんなに差があるのかと思うようなものも見受けられた。

それぞれに理由もあるわけであるが、予算編成はこうした小さいところからの積み上げであり、昨今の大変厳しい町財政の中では一つ一つの積み上げ方によっては、まだまだ改善できるところがあるように思われる。特に経常的経費にあっては、積算の工夫に挑んでほしい。

| | |
|------|-------------|
| 収入総額 | 150億9,816万円 |
| 支出総額 | 140億7,167万円 |
| 差引額 | 10億2,649万円 |

普通会計支出の内訳



※1 生活保護費や児童手当などの住民扶助費
※2 消費的性質の賃金、旅費、交際費など



常任委員会報告

(質疑の一部を要旨のみ掲載します)

総務教育常任委員会

問 今後の消防団員の募集方法は。

長沢総務課長 消防団と協力して募集していく。

問 詰所以外の施設を使用している分団があるが電気料はどうしているか。

総務課長 按分などの方法を検討したい。

問 大同地区公民館の用地取得等、今後の予定は。

伊藤生涯学習課長 用地取得は24年度で行い、建設は25年度からの予定である。

問 大塚小学校駐車場用地の面積、単価、工事内容は。

網倉教育総務課長 約101平方メートルで、単価は平米1万2千円、車5台分の舗装、擁壁等である。

問 給食費について、学校給食同様、幼稚園にも公費負担をしてはどうか。

教育総務課長 私立幼稚園などで、町からの公費負担はできない。



給食センター

問 地域支えあい体制づくり事業の拠点、開設時期は。

青柳福祉支援課長 穂積公民館で、数ヶ月先になる。

問 単年度補助事業だが来年度の取り組みは。

町長 最低でも3年間は続けたい。

問 つむぎの湯が復旧したが入場者数等はどうか。

樋川つむぎの湯所長 増加しており、湯量・濁り等にも異常はない。

問 保育所の正・臨時職員パート数は何人か。

上野保育課長 正職員22名、臨時職員17名、パート9名である。

問 福祉タクシーの利用人数が違うが。

福祉支援課長 利用実績枚数で支払いするので変わる。



穂積公民館（市川地区）



厚生常任委員会

土木環境常任委員会

意見を集約・回答

市川三郷町地域医療を守る特別委員会

常任委員会開会日

| | |
|-----------|-------|
| 総務教育常任委員会 | 9月8日 |
| 厚生常任委員会 | 9月12日 |
| 土木環境常任委員会 | 9月13日 |

問 太陽光パネル設置申請は前年度の2・6倍との事だがどのようないケースか。

河西生活環境課長 8割以上は新築である。

問 合同庁舎北側水路工事費の減額理由は。

小林産業振興課長 県の許可が下りず、別の補助金での採択を要望している。

問 上野圃場整備工事は5月30日竣工では。

産業振興課長 一工区は終つたが二工区が9月30日完成予定である。

問 青洲橋下流、川に下る道は増水時危険である、改良を。

町長 付近も含め文書で県に要望したい。

議会傍聴に お出かけください

次回定例会は12月中旬に
予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆9月定例会の傍聴実績(のべ人数)
本会議 27人 委員会 3人

◆会議録検索システム利用件数
1月から9月まで 3,458件

◆お問い合わせ
議会事務局
TEL055-272-1108

問 町道落居五八線災害復旧、査定で認められなかつた場合は、町独自で復旧してもらえるか。

加藤建設課長 予算計上し、復旧したい。

問 公共下水道の汚泥の放射能検査は初めてか、県からの補助金は。

河西生活環境課長 初めてで、補助金はない。

問 釜無川流域下水道の汚泥は。値以下である。

問 温泉事業特別会計償還予定期間、残額は。

小林産業振興課長 平成33年度までで、3億3千6百万円ほどである。

市川三郷町地域医療を守る特別委員会(秋山詔樹委員長)は、9月1日、第9回委員会を開催し、平成23年4月23日付、町長より依頼のあつた、地域医療体制調査検討委員会の検討結果(案)に対し、市川三郷町議会の意見を集約し、9月1日付、回答した。

〔意見集約の内容〕

峠南北部の医師確保や救急医療体制の整備、病院経営の効率化を構築するためには、社会保険鰍沢病院と市川三郷町立病院、更に峠南病院の3病院を統合し、中核病院としての機能を強化することが望ましい。

〔付帯事項〕

病院経営統合等の協議において、両町協定項目以外で疑義が生じた場合は、協議会において協議し、両町の合意を必要とする。合意がなされない場合にあつては、協議会からの離脱等もあり得るものとする。

ここが 聞きたい

一般質問 行政をただす

町の行政全般に対して、事務事業の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信をただしました。

社会福祉士110番の設置が必要と思うが ——瀬 正——

問 社会福祉士110番窓口の設置
が必要と思うが。

町長 相談には、社会福祉主事の資格を持つ4名の職員と保健師などで対応している。社会福祉士は町立病院と社協に1名ずつ配置されている。来年度1名の採用を予定。少しでも

安心して暮らせるよう役割を果たしが必要と思うが。

瀬 正 町独自の失業対策事業を。
安心して暮らせるよう役割を果たしが必要と思うが。

社会福祉士110番の設置が必要と思うが

町長 一自治体では問題もある。厳しい財政状況の中、地域において雇用創出効果の高い事業を実施するよう努める。

問 中学3年生を対象にした学習支援事業を。

町長 高校入試対策に加え、学力の基礎となる国語力が高まるよう言葉の森教室を実施している。2年目を迎える。人数も増え成果も上がっている。今後いろいろの角度から検討する。

瀬 正 町独自のエネルギー政策は。
町長 太陽光発電の補助制度の普及啓発、小水力発電施設の設置、ソーラー発電システムについても調査研究を行っていく。

問 有償ボランティア制度の活用と問題は。

町長 本年6月22日に公布されたが、詳細は10月以降に基本事項が示される。利用状況の確認や本人と家族の思いを優先し、厚労省の状況を注視しながら住民に沿った介護事業の運営を推進していく。

問 包括支援センターに、社会福祉士を配置して総合相談窓口にしてはどうか。

町長 以前から総合相談窓口の設置は思つており、推進すべく検討する。今後トータル的に考えていく。

瀬 正 町独自のエネルギー政策は。
町長 太陽光発電の補助制度の普及啓発、小水力発電施設の設置、ソーラー発電システムについても調査研究を行っていく。

問 有償ボランティア制度の活用と問題は。

町長 本年6月22日に公布されたが、詳細は10月以降に基本事項が示される。利用状況の確認や本人と家族の思いを優先し、厚労省の状況を注視しながら住民に沿った介護事業の運営を推進していく。

- ◆ホームページで本会議の議事録を検索できます。
- ◆議事録は議会事務局で閲覧できます。
- ◆顔写真は年1回初回のみとします。
- ◆掲載は要旨のみとします。

わかりやすい 公文書を目指して

笠井雄一

— なお一層 努力・検討する —

問 文書を分かりにくくしているべきではないか。

因に役所言葉、カタカナ語の氾濫等があり、町民から見て、よりわかりやすいものとなるよう、現状の分析、課題の洗い出し等、関係各課で行う

町長 読んで理解していただくためにも、相手の立場になりわかりやすい文章を作成することに日々心掛け、結果を手引としてまとめ上げて、今後も形式や、様式のないもの

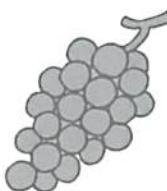
で、町民の皆さま向けの文書等については一層努力していく。

問 高齢者に対しては、非常に活字が小さいというものもあり、情報を把握し、情報技術を身につけて、文

章の内容、住民にわかりやすく説明できるよう住民からの声を取り入れ、出版物への指針策定の組織を立ち上げ、結果を手引としてまとめ上げるが。

町長 高齢者に対する文章で、文字の大きさについて、これは共通する問題ですから改善すべきと思います。

問 指摘されました提案に対しては今後、検討していく。



国土利用計画の見直しを

遠藤浩

— 土地利用計画との整合性に問題ない —

土利用計画との整合性には問題ないと考える。

問 被害想定地域を開発する場合、議論が必要では。

町長 國土利用計画の中で、被害が起らぬよう最大限努力していく。

問 地の有効活用を推進。またハザードマップは、浸水想定区域図、土砂災害。

町長 土地利用計画は、限られた土

問 洪水ハザードマップには、被害が想定される住宅地も含まれているが、国土利用計画との整合性がないと感じるが見直しはしないのか。

町長 國土利用計画は、限られた土地の有効活用を推進。またハザードマップは、浸水想定区域図、土砂災害。

町長 避難対策を見直し、県と整合性を取りながら策定していく。

問 害危険個所等が示され、危険性や避難等の確認のためのものである。国

問 一般会計の一時借入金は、税の運用として不適当ではないか。

町長 一時借入金は、歳出予算の支

出資金が、一時的に不足するときの資金繰りとして借り入れるものである。そのため財源が収入されるまで一時借り入れし、支払いを行っている。安易に借り入れているものではない。

一般質問

被災者支援システムの導入を

宮崎 博巳

— 研究していきたいと考える —

問 東日本大震災を教訓に、災害時に町民の生命・財産の情報を確保し、一元的に管理できる、被災者支援システムを導入する考えは。

いく。

網倉地区地滑り対策の経緯は

内藤 優

— 調査・要望をして地域住民に安心感を —

問 過去二回、同様の質問を行なつたが、国の所管違いからか、地滑り防止地域の指定は、不可能と報告されたが。

町長 22年の出水期終了後、現在地滑り現象の確認がされないため、水位・ひずみ観測計器が撤去され、県から事業化することが不可能と説明があつた。

問 防災無線の内容を確認できるサービスを提供している電話番号を書いたステッカーの配布を。

町長 広報に毎月掲載している。各

世帯で保管して頂く方法を取りたい。

問 デマンドバス導入について質問から一年が経過する中でどのような検討がされたか。

町長 調査・検討の結果、初期投資において、非常時に効果的な活用ができる。住民基本台帳等のデータが必要であり、費用等も含め研究していく。

況になる。タクシー事業者の営業にも影響を及ぼす事も考えられ、当面はコミュニティバスの有効利用を考える。

問 デマンドバス導入について、町内のタクシー会社に委託すれば、初期投資も少なくて済むと思うが。

長田企画課長 コミュニティバスもタクシー会社へ委託している。システムの構築もあるのでもう少し研究したい。

問 いつ起るか分らない災害に、継続して調査・観測を県に要望を。

町長 地区の安全対策を協議し、計器の再設置を続ける事を県に要求する。

問 網倉の愛鷹神社横の住宅前の石積みの大きな亀裂への対策・調査は。

加藤建設課長 度々現地の観測を行つてている。

町長 住民が安心出来るよう調査のための予算計上に取り組む。

問 落居・西沢貯水池の安全対策は。

町長 整備事業を行つて来たが老朽化しており、県・町では地震後の、

ため池緊急点検の実施計画があり、水利組合と安全管理を協議していく。



討論

国民健康保険特別会計

介護保険特別会計

後期高齢者特別会計

平成22年度 一般会計・特別会計 決算認定 (賛成16・反対1)

(反対) 一瀬 正議員

高い税金、払えない人をこれ以上苦しめて良いのか、町独自の努力では町民のいのちは守れない。憲法25条を守る国姿勢を追求する立場から反対する。

(賛成) 川崎 充朗 議員

22年度、税率改正により、加入者の負担を求めた。多くの市町村が年々税率改正を実施してきた事に対し、財政調整基金を活用し、負担増となるないよう努力している。また不足する財源には繰入金を投入し、取り組んでいることは評価する。

(反対) 一瀬 正議員
介護保険料は年金から天引きされて、納めても介護が必要になつた時、介護サービスが受けられない現状の中、介護を受ける人、老々介護をしている人、その人達を真に助ける制度になつてないことを考え反対する。

(賛成) 川崎 充朗 議員

現在、新たな医療制度が検討され、新制度が発足するまでは、高齢者の医療を守るために、制度を堅持し、安心して医療が受けられるよう努めていくことが大切である。

(反対) 一瀬 正議員
75歳を過ぎた親は、なぜ扶養家族にしてはならないのか。国保税収入にも大きな影響を与えた後期高齢者医療保険制度廃止の立場から反対する。

意見書

中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の提出

提出者

市川三郷町議会

議長 松野 清貴

関係機関に意見書の提出を決定しました。

- ◎第3回9月定例会(9月7日~16日) 結果
 - ・総合計画審議会条例等中改正 可決・全会一致
 - ・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正 可決・全会一致
 - ・平成23年度一般会計補正予算(第3号) 可決・全会一致
 - ・平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 可決・全会一致
 - ・平成23年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 可決・全会一致
 - ・平成23年度簡易水道特別会計補正予算(第2号) 可決・全会一致
 - ・平成23年度公共下水事業特別会計補正予算(第2号) 可決・全会一致
 - ・平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 可決・全会一致
 - ・平成22年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定 認定・賛成多数
 - ・平成22年度上水道事業会計決算認定 認定・全会一致
 - ・平成22年度病院事業会計決算認定 認定・全会一致
 - ・中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の提出 可決・全会一致

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名(区分)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ:議会事務局 ☎055-272-1108



元気いっぱい山保の子!!

「**丈夫な体・優しい心・元気いっぱい・笑顔いっぱい**」年間保育目標の通り、毎日いろいろな活動を楽しんでいる山保保育所の子ども達!!

今年度は3名の園児ですが、毎月他の保育所と交流して大勢の友だちとふれ合っています。

9月の運動会では、市川東小学校のお兄さんお姉さんや山保地区の皆さんと一緒に最後まで元気に参加することができました。

いつも美しい自然の中で一人ひとりがワクワク、ドキドキ、泣いたり笑ったり怒ったりしながらたくさん遊び、その中で試してみたり!失敗したり!発見したり!

・・・と経験のひとつひとつが自信となり次への意欲へつながり、心も体もより一層大きく成長して行けるようにと願っています。



● 山保保育所

みんなげんきいっぱい
がんばってまーす
やまほほいくしょ



議会広報編集特別委員会
委員長 宮崎 博巳
副委員長 笠井 雄一
委員 市川 充朗
有泉 川崎 朝嗣
希 市川 朝嗣
土屋 恵三郎
(記 土屋 恵三郎)

「糸(きずな)」今年ほどこの言葉を、テレビ、新聞で見聞きしたことはありません。「糸」とは「断つことのできない人と人との結びつき」を意味しますが、字源は動物を繋ぎとめる網を表しています。あるテレビ番組の中で「糸」の漢字は「糸+半」と書くことから、人と人の結びつきの「糸」とは一方が相手の力加減に関係なく引っ張り合うと糸は切れてしまう、お互いが相手の力加減を考えながら繋がる結びつきの意味を込めて「糸+半」ではないかと教えてくれました。自分の思いを一方的に押し付けられるものではなく、お互いに思いやりの気持ちが「糸」を作るのだと感じ、なる程と思いました。議会広報モニター様、町民の皆様との「糸」を大切に、皆様の声を届ける努力をして参ります。

編集後記